

南の風

- ・巻頭言
- ・交通安全教室、運動会
- ・学校支援活動、校地内外事故防止
- ・5月の予定



子どもの校外生活における交通安全

校長 若狭 陽一

全国で子どもが巻き込まれる交通事故が相次いでいます。特に、5月13日には浜松市で、5月16日には札幌市で、いずれも小学4年生が車にはねられ死亡するという報道を目にし、心が痛みます。5、6月は、一年の中でも小学生以下の死傷事故が起きやすいとされています。この時期は、子どもの校外生活における交通事故が心配されるところです。

幸い、五泉南小学校では、昨年度から現在に至るまで、子どもの交通事故の報告はありません。これも、地域、保護者の皆様方の「朝夕の見守り活動」や「ご指導」のお陰と感謝しております。しかしながら、地域の方々から、子どものヒヤリとする姿の報告をいただいております。

【これまで、地域の方々からいただいた報告の一部】

- ・車の通りが多い細い道で、数個のランドセルの持つ遊びをしながら、ふらふらと歩いていた。
- ・歩道の脇を通り過ぎる車に対して、傘の先を突き出すような行為をしていた。
- ・跨線橋の南本町側出口で、横断歩道をショートカットして、向こう側に渡っていた。

学校では、その都度、当該の子どもや全体に指導をしています。しかし、子どもはまだ未熟ですので、繰り返しの指導が必要と考えているところです。

令和3年3月に文部科学省より、大人に対しての「登下校 見守り活動ハンドブック」が発行されています。下のQRコードからご覧いただけますので、どうぞ参考にされてください。このハンドブックには、子どもの特性として、以下の内容が記されています。

子どもは、大人より視野が狭く、視点も低いため、大人と同じように危険を感じていないことに留意しましょう。

【子どもの行動・特性】

飛び出し・・・公園などからの急な飛び出しに注意が必要。自転車・歩行者との出会い頭の衝突の危険がある。

急に走る・・・青信号に変わったときや踏切の遮断機が上がった途端に走り出す子どもに注意が必要。

広がって歩く・自転車などとの衝突の危険が高まる。また、他の歩行者や自転車の迷惑となる。

上記の内容等を踏まえて、ご家庭でも、お子さんと一緒に、再度、通学路や地域を歩いて安全を確認していただければ幸いです。また、自転車乗りを許可しているご家庭は、ヘルメット着用の指導はもちろんのこと、一緒に自転車に乗っての安全確認もお勧めです。学校、家庭、地域が一体となって、悲惨な交通事故を防止できますよう、お力をお貸しください。

登下校
見守り活動
ハンドブック

